Panasonic

機能追加ガイド

CATV デジタルセットトップボックス

品番 **TZ-HDW600 シリーズ**

- TZ-HDW600M/F/P は、ソフトウェアのバージョンアップにより「ダビング」、「お部屋ジャンプリンク」、「ホームサーバー機能」など、機能の追加が図られています。
  本書は機能追加による取扱説明書の変更内容について説明しています。
- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容やご利用になっている環境（他社製機器など）により、追加機能が使用できない場合があります。
- この機能追加ガイドは大切に保管してください。

主な機能追加

バージョンアップによる機能追加内容は、下表の通りです。

- 説明文中の参照ページについて
  「☞ ○○ページ」の表記は、お持ちの取扱説明書の該当ページをご覧ください。

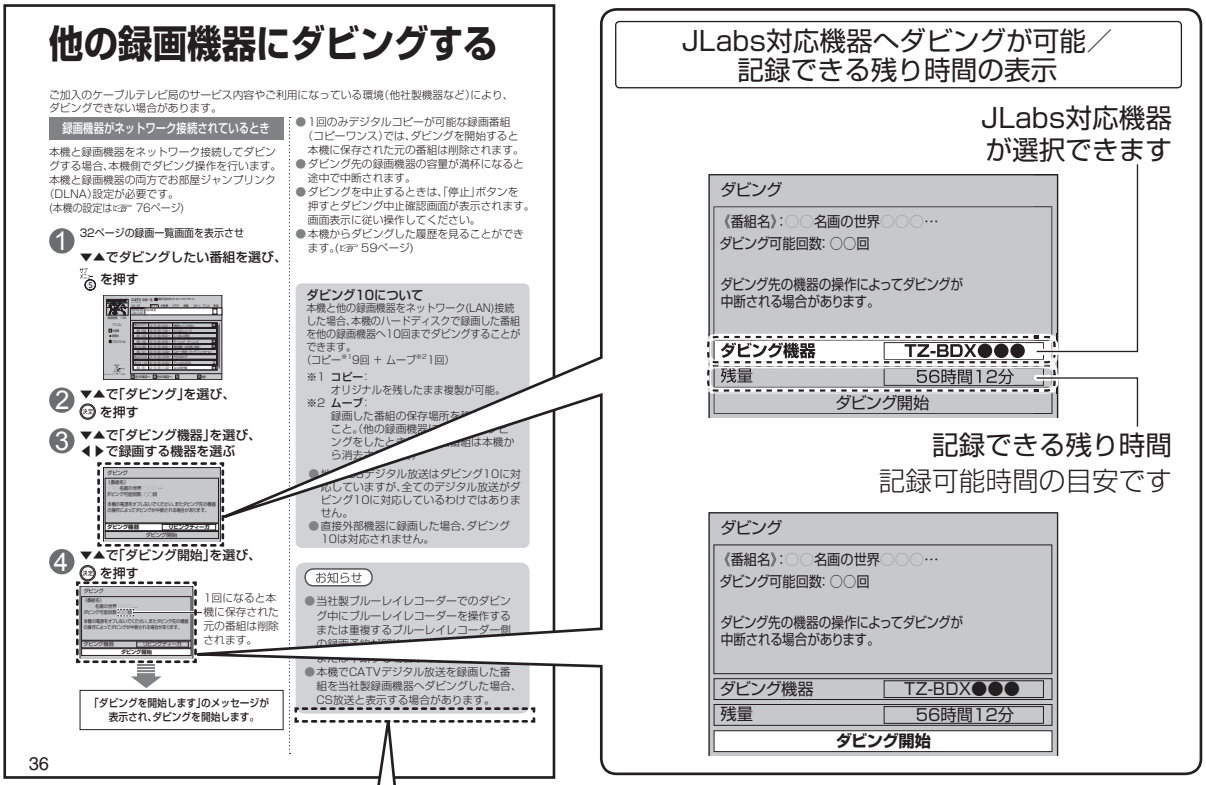
下表「※」印の項目は、JLabs SPEC-020（一般社団法人 日本ケーブルラボ が策定した仕様）に準拠した対応機器（「JLabs対応機器」）とネットワーク接続したときに機能が働きます。

項　目	取扱説明書該当ページ	内　容	説明ページ
他の録画機器にダビングする※	36	●JLabs対応機器へダビングが可能 ●記録できる残り時間の表示 ●ダビングの再実行（リトライ機能）	2
ネットワーク関連設定※	76	●お部屋ジャンプリンク機器の詳細情報の追加 ●ダビングの記録先の設定	3
他の録画機器の番組を見る お部屋ジャンプリンク	35	●視聴制限の一時解除※ ●番組の詳細内容を表示 ●お部屋ジャンプリンク機器の起動 ●途中再生機能 ●録画番組の消去 ●お部屋ジャンプリンクファイル一覧画面の変更※	4
別の部屋の機器で録画番組を見る※ ホームサーバー機能	37	●視聴年齢制限の制御変更	5
D端子から出力される映像信号について	72	●D端子からのハイビジョン出力制限（AACS）	6
「チャンネル制限」機能について	66	●番組表やお好み選局の表示、選局ボタンで選局されるチャンネルが、ご加入のコースで視聴できるチャンネルのみになります。	7

他の録画機器にダビングする

取扱説明書　36ページ

本機からJLabs SPEC-020に準拠した録画機器にダビングする場合、下記の機能と操作画面が変更になります。
JLabs対応機器へダビングが可能／記録できる残り時間の表示／ダビングの再実行（リトライ機能）



●選択した機器がダビング機能に対応し、記録先情報が取得できる場合、ダビングの記録先を設定することができます。（3ページ「ダビングの記録先の設定」）
・機器によっては表示されない場合があります。

ダビングの再実行（リトライ機能）

ダビング中に、録画機器側の予約録画などによりダビングが中止になった場合、ダビングの再実行が行われます。録画機器側から予約情報を取得し、16時間以内でダビングの再実行が可能な空き時間があればダビングを開始します。
・ダビングの再実行は、1回のみ行われます。

ネットワーク関連設定

取扱説明書　76ページ

JLabs SPEC-020に準拠した録画機器をネットワーク接続し、本機のお部屋ジャンプリンク(DLNA)を設定する場合、下記の機能と操作画面が変更になります。
ダビングの記録先の設定／お部屋ジャンプリンク機器の詳細情報の追加

ネットワーク関連設定

④ご加入のケーブルテレビ局または、ご加入のプロバイダーから指示された、IPアドレスを画面の指示に従ってそれぞれ入力する
＜入力画面例(プライマリDNS)＞

IPアドレスを修正するときは 黄 (1文字削除)で消去後に入力してください。

IPアドレスが0～255の範囲外の場合は、エラーメッセージが表示されます。
●設定は、以下の「接続テスト」を行うと有効になります。

接続テスト

75ページ手順⑥のとき
「接続テスト」を選び、決定 を押す

OK 接続が完了
NG ブロードバンド環境の接続と設定の確認を行い、74ページからの設定を確認して再度テストしてください。(☞ 64ページ)
テスト中 テスト中

ゲートウェイアドレスとは
インターネットへのアクセスで経由すべき機器のIPアドレスです。通常はブロードバンドルーターのIPアドレスを言います。(例：192.168.0.1)

ケーブルモデムとは
CATVの回線を使ってインターネットに接続するための装置です。電話回線におけるモデムの役割を果たすため、ケーブルモデムと言います。

サブネットマスクとは
ネットワークを効率的に使うために、ブロードバンドルーターにつなぐ機器のIPアドレスを絞り込むための数字です。(例：255.255.255.0)

お部屋ジャンプリンク(DLNA)を設定する

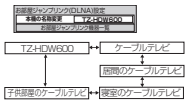
ネットワーク接続された録画機器の録画番組を見るための設定をします。

74ページ手順⑤のとき
⑤ **▼で「お部屋ジャンプリンク(DLNA)設定」を選び、決定 を押す**

本機の名称

本機の機器名を変えることができます。

⑥ **▼▲で「本機の名前変更」を選び、◀▶で機器名を選ぶ**



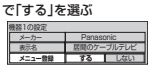
お部屋ジャンプリンク機器を選ぶ

お部屋ジャンプリンク機器一覧画面から使用する機器を選びます。

⑥ **▼▲で「お部屋ジャンプリンク機器一覧」を選び、決定 を押す**

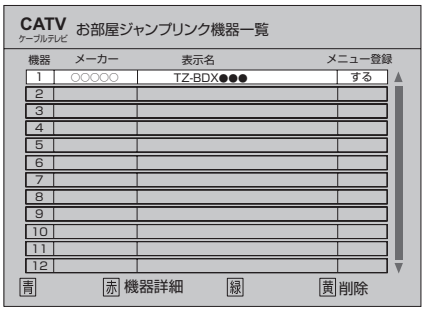
⑦ **▼▲で使用する録画機器を選び、決定 を押す**

⑧ **◀で「する」を選ぶ**

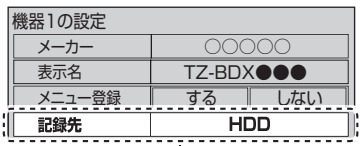


ダビングの記録先の設定

⑦ ▼▲で使用する録画機器を選び、決定 を押す

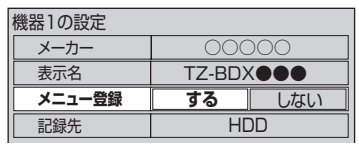


⑧ ▼▲で「記録先」を選び、◀▶で設定する



●選択した機器がダビング機能に対応し、記録先情報が取得できる場合、ダビングの記録先を設定することができます。
・機器によっては表示されない場合があります。

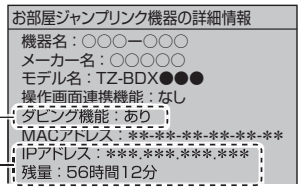
⑨ ▼▲で「メニュー登録」を選び、◀で「する」を選ぶ



お部屋ジャンプリンク機器の詳細情報

＜お部屋ジャンプリンク機器一覧画面＞

●赤 でお部屋ジャンプリンク機器の詳細情報を確認できます。



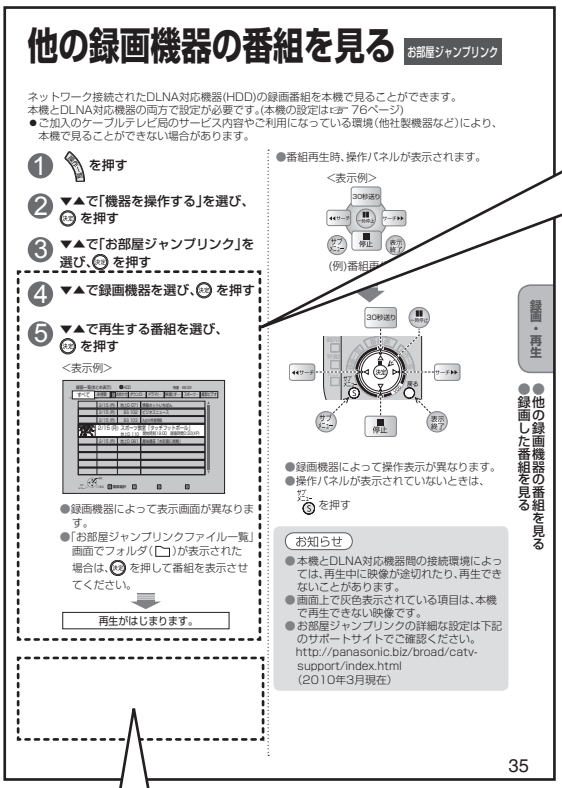
追加項目
ダビング機能の確認／IPアドレス／記録できる残り時間

●機器の内容が正しく表示されないときは、ネットワーク接続や選択した機器の設定を確認してください。
●詳細情報の内容は機器によって異なります。

他の録画機器の番組を見る お部屋ジャンプリンク

取扱説明書　35ページ

本機から録画機器の番組を見る場合、下記の機能と操作画面が変更になります。
視聴制限の一時解除／お部屋ジャンプリンク機器の起動／途中再生機能／録画番組の消去／お部屋ジャンプリンクファイル一覧画面の変更／番組の詳細内容を表示



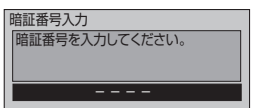
[JLabs対応機器を接続している場合]

視聴制限の一時解除

本機の「視聴可能年齢」(☞56ページ)の設定を超える視聴制限番組は表示されません。
下記の操作で番組名を一時的に表示させ再生することができます。

1 お部屋ジャンプリンクファイル一覧画面を表示させサブメニュー(S) を押し、▼▲で「視聴制限一時解除」を選び、決定 を押す

2 暗証番号を入力し、決定 を押す

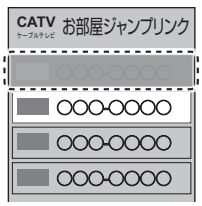


視聴制限のある番組も含めお部屋ジャンプリンクファイル一覧画面に表示されます。

お部屋ジャンプリンク機器の起動／途中再生機能

4 ▼▲で録画機器を選び、決定 を押す

●グレーアウト表示になっている機器は、現在ネットワーク機能が動作していません。(または電源がオフ状態)



※グレーアウト表示の機器を選択し、決定 を押すことで機器を起動できます。
・録画機器により起動できない場合があります。

5 ▼▲で再生する番組を選び、決定 を押す

<お部屋ジャンプリンクファイル一覧画面>

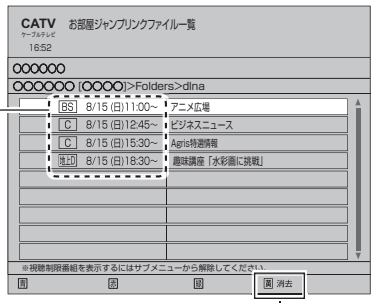
● 一度再生された番組は、続きから再生が可能です。
※途中再生の確認画面が表示されたら、◀で「はい」を選び、決定 を押す。
(最初から再生したい場合は、「いいえ」を選んでください。)

再生がはじまります。

お知らせ
●録画機器により、途中再生できる番組は最新の20番組までになる場合があります。

録画番組の消去／お部屋ジャンプリンクファイル一覧画面の変更

<JLabs対応機器の画面例>



追加項目
放送種別のアイコン／録画番組の開始時間

●お部屋ジャンプリンクファイル一覧の録画番組を消去する
▼▲で消去したい番組を選び、黄を押す。
※消去確認画面が表示されたら、◀で「はい」を選び、決定を押す。

お知らせ
●録画機器や録画番組により消去されない場合があります。

番組の詳細内容を表示

再生中に 番組内容 を押す

■番組タイトル
シネマの時間　映画　○○○○○○○○
○○○○
■番組概要
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

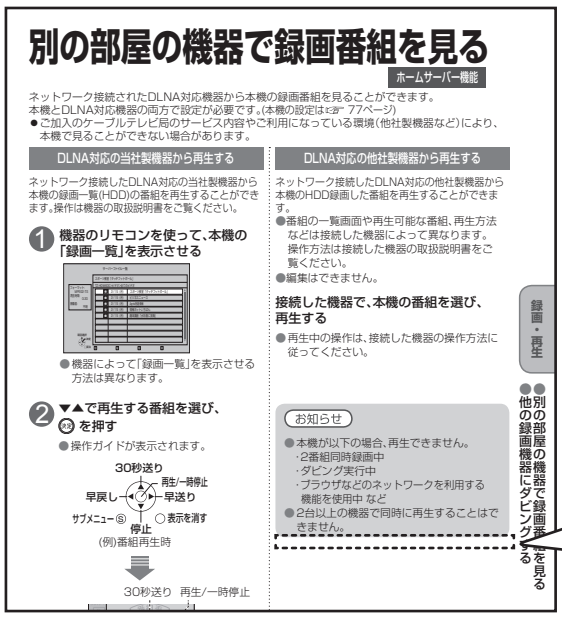
●しばらくすると表示は消えます。
（戻る を押しても表示は消えます。）

お知らせ
●録画機器や再生中の番組により表示されない場合があります。

別の部屋の機器で録画番組を見る ホームサーバー機能

取扱説明書　37ページ

JLabs SPEC-020に準拠した対応機器から、本機の内蔵HDDに録画した番組を再生する場合、視聴年齢制限（パレンタルロック）の制御が変更になります。
JLabs対応機器側の視聴年齢制限の設定により再生を行うことができます。
・JLabs非対応機器の場合：本機の「視聴可能年齢」（☞56ページ）の設定により再生します。
（視聴可能年齢を超える番組は再生できません。）



別の部屋の機器で録画番組を見る

ホームサーバー機能

ネットワーク接続されたDLNA対応機器から本機の録画番組を見ることができます。
本機とDLNA対応機器の両方で設定が必要です。(本機の設定は☞ 77ページ)
●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容やご利用になっている環境（他社製機器など）により、本機で見ることができない場合があります。

DLNA対応の当社製機器から再生する

ネットワーク接続したDLNA対応の当社製機器から本機の録画一覧(HDD)の番組を再生することができます。操作は機器の取扱説明書をご覧ください。

❶ 機器のリモコンを使って、本機の「録画一覧」を表示させる

●機器によって「録画一覧」を表示させる方法は異なります。

❷ ▼▲で再生する番組を選び、決定 を押す

●操作ガイドが表示されます。

30秒送り
再生/一時停止
早戻し
早送り
サブメニュー
停止
表示を消す
(例)番組再生時
30秒送り　再生/一時停止

DLNA対応の他社製機器から再生する

ネットワーク接続したDLNA対応の他社製機器から本機のHDD録画した番組を再生することができます。
●番組の一覧画面や再生可能な番組、再生方法などは接続した機器によって異なります。操作方法は接続した機器の取扱説明書をご覧ください。
●編集はできません。

接続した機器で、本機の番組を選び、再生する

●再生中の操作は、接続した機器の操作方法に従ってください。

お知らせ
●本機が以下の場合、再生できません。
・2番組同時録画中
・ダビング実行中
・ブラウザなどのネットワークを利用する機能を使用中 など
●2台以上の機器で同時に再生することはできません。

録画・再生
●●別の部屋の機器で録画番組を見る／他の録画機器にダビングする

●JLabs対応機器の場合は、ご使用のJLabs対応機器の視聴年齢制限を設定してください。
※機器により設定項目の名称が異なる場合があります。

D端子から出力される映像信号について

取扱説明書　72ページ

放送中の番組を視聴する場合や本機の内蔵HDDに録画した番組を再生する場合などは、D端子から出力される映像信号については変更はありません。

ネットワーク接続されたDLNA対応機器の録画番組を、お部屋ジャンプリンク（DLNA）経由で再生する場合、AACS（ブルーレイディスクの著作権保護技術）の運用ルールの制限により、再生する番組やディスクによって本機のD端子からハイビジョン映像（1080i、720p）で出力されない場合があります。

設置設定

本機のHDMI出力端子または、D端子から出力される映像信号について

70～71 ページの HDMI/D 端子出力解像度の設定により、放送局から送信された信号方式［1080i、720p、480i、480p］を本機は下表のような信号方式で出力します。

設定			「HDMIおよびD端子出力解像度の設定」により本機から出力される信号方式			
D端子出力解像度			D1	D2	D3	D4
HDMI出力解像度			−−	480p	1080i	720p
放送局から送信される信号方式	HD	1080i の放送	480i に変換して出力	480p に変換して出力	1080i をそのまま出力	1080i をそのまま出力
		720p の放送			1080i に変換して出力	720p をそのまま出力
	SD	480i の放送	480i をそのまま出力			1080i に変換して出力
		480p の放送	480i に変換して出力	480p をそのまま出力		

※ 480i、480p は 1080i に変換されますが、画質は 480i、480p と同等になります。

お知らせ

- HDMI出力端子または、D端子映像出力端子から出力する映像信号は、放送局から送られてくる信号と HDMI出力解像度やD端子出力解像度の設定により異なります。正しく設定できていない場合は、映像が映らなかったり映像が映っても、接続されるテレビの持っている本来の画質にならないことがあります。

走査線について

1080i
デジタルハイビジョン放送（HD）の1つで、1/60秒ごとに1125本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース（飛び越し走査）方式です。走査線数は現行テレビ放送の525本の倍以上の1125本もあるため、細部まできれいに表現され臨場感豊かな映像になります。

480i
デジタル標準テレビ放送（SD）の1つで、1/60秒ごとに525本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース（飛び越し走査）方式です。現行のテレビ放送やBS放送と同等の解像度です。

480p
デジタル標準テレビ放送（SD）の1つで、1/60秒ごとに525本の走査線を同時に流すプログレッシブ（順次走査）方式です。インターレース方式のように交互に流さないので、チラツキが少なくなります。

720p
デジタルハイビジョン放送（HD）の1つで、1/60秒ごとに750本の走査線を同時に流すプログレッシブ（順次走査）方式です。インターレース方式のように交互に流さないので、チラツキが少なくなります。

72

再生する番組、ディスク（お部屋ジャンプリンク）	本機の D 端子 ハイビジョン出力
BDディスクからHDDに書き戻し（ムーブバック）ダビングした番組	D1（480i）で出力されます
HDD にハイビジョン映像で録画した番組	D端子出力解像度で設定した信号方式で出力されます
BD-RE、BD-R に録画した番組	D1（480i）で出力されます
AVCREC 方式のDVDディスクに録画した番組	D1（480i）で出力されます

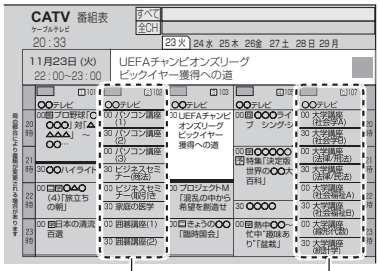
「チャンネル制限」機能について

取扱説明書　66ページ

番組表やお好み選局の表示、 ∧ チャンネル ∨ **で選局されるチャンネルが、ご加入のコースで視聴できるチャンネルのみになります。**

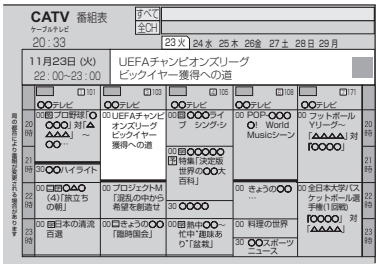
●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容によりご利用いただけない場合があります。

(番組表)



視聴できないチャンネル

チャンネル制限を「**制限する**」に設定すると



視聴チャンネルのみが表示されます

チャンネル制限の設定

1 操作一覧 **を押す**

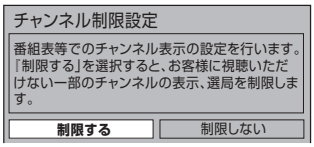
2 **▼で「設定する」を選び、決定 を押す**

3 **▼で「設置設定」を選び、決定 を押す**

4 **▼で「チャンネル設定」を選び、決定 を押す**

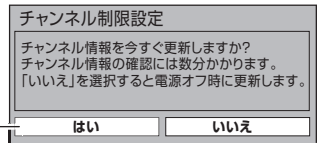
5 **▼で「チャンネル制限」を選び、決定 を押す**

6 **◀で「制限する」を選び、決定 を押す**



●**チャンネル制限設定を元に戻すときは**「制限しない」を選びます。

7 **◀▶で設定を選び、決定 を押す**



はい チャンネル情報を今すぐ更新します。情報更新には数分かかります。

しばらくすると設定の完了画面が表示されます。

いいえ チャンネル情報を電源オフ時に更新します。

● **設定後は、元の画面 でテレビ放送の画面に戻ります。**

CATV デジタル セットトップボックス　TZ-HDW600M/F/P　機能追加ガイド

パナソニック株式会社　AVCネットワークス社
〒571 − 8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号
© Panasonic Corporation 2011

S1211-0